



平成21年 8月20日

各 医 師 会

感染症危機管理担当理事 殿

福 岡 県 医 師 会

感染症危機管理担当理事

原 口 宏 之

(公 印 省 略)

新型インフルエンザのハイリスク者に対する対応並びに
院内感染防止対策の徹底等について

今回の新型インフルエンザA/H1N1は、病原性については、季節性インフルエンザと同等レベルとみなされていましたが、米国とカナダのデータの推計から、致死率は「アジアかぜ」並みの0.5%程度と報告されました。また、感染力については、免疫を持たないため、季節性インフルエンザより感染し易く、感染拡大のスピードが速いと予想されます。全国の感染症発生動向調査においても、1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者が1名以上報告されている都道府県が増加しており、全国的な感染拡大の兆候を示しております。夏休みが終了する9月以降は、学校における感染の拡大等、集団発生の動向により一層注意する必要があります。

さらに、8月15日に沖縄県において、国内初の新型インフルエンザ患者の死亡例が報告され、続いて17日に神戸市、19日に名古屋市において死亡例が報告されました。急性脳症などの重症化例の報告も増加しております。亡くなられた方々は、ともに心筋梗塞や腎不全、糖尿病、多発性骨髄腫等の基礎疾患を有するハイリスク者でした。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、特にハイリスク者に対しては、臨床的に新型インフルエンザを疑った場合は、主治医の判断により早期から抗インフルエンザ薬を投与する等、重症化防止を最優先とした治療を行っていただくよう、また、医療機関内での集団感染の報告も出ていることから、院内感染防止対策をさらに徹底していただくよう、会員各位への周知徹底についてご高配の程お願い申し上げます。

小郡三井医師会より

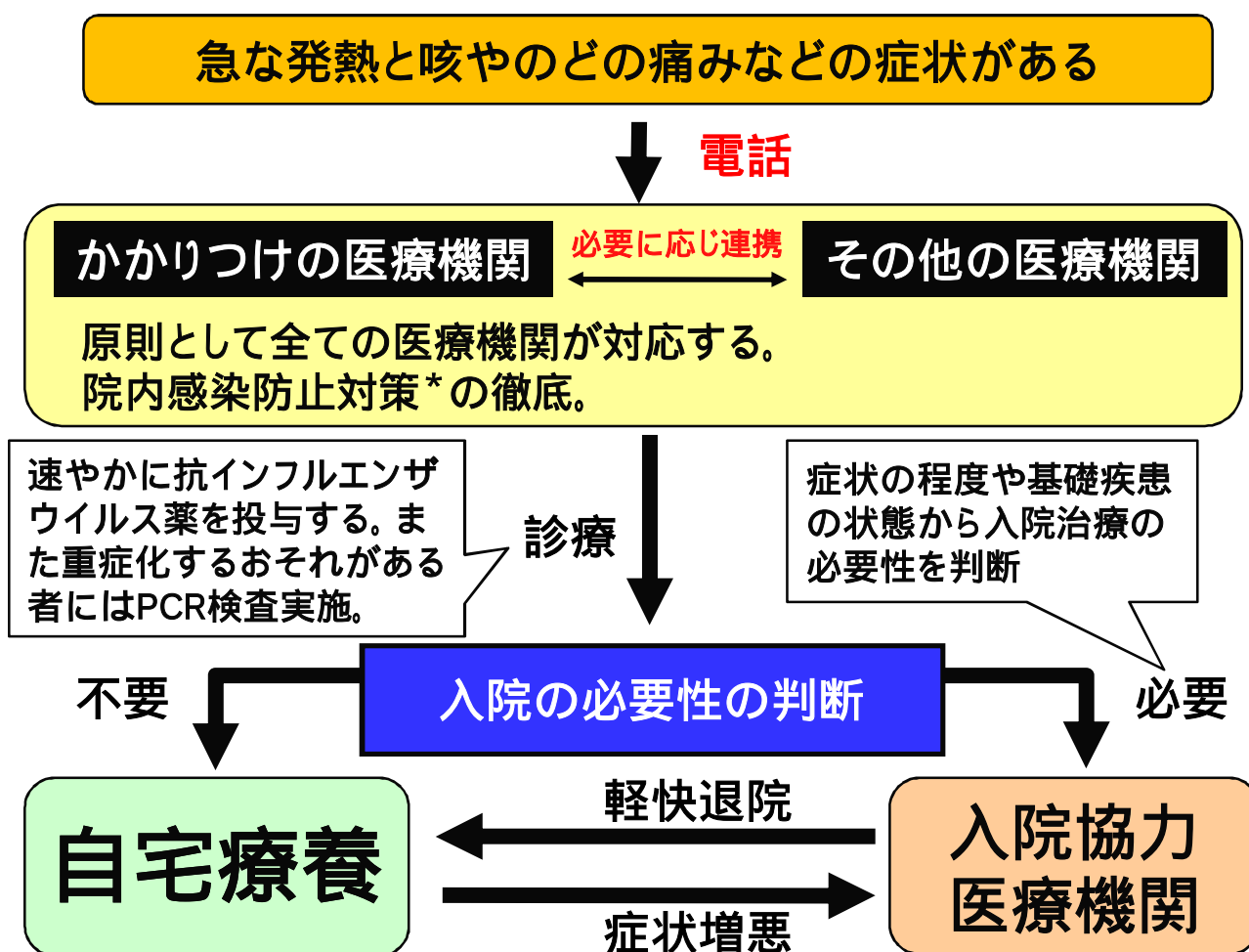
感染症対策担当理事 毛利康茂
新型インフルエンザ対策委員会
会長 丸山 泉

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

2009年32週(08月03日～08月09日)2009年08月12日作成

	インフルエンザ	
	報告	定点当り
総数	4630	0.99
北海道	41	0.18
青森県	43	0.67
岩手県	20	0.32
宮城県	14	0.15
秋田県	7	0.13
山形県	8	0.17
福島県	34	0.43
茨城県	109	0.91
栃木県	47	0.62
群馬県	28	0.28
埼玉県	191	0.79
千葉県	166	0.85
東京都	466	1.68
神奈川県	263	0.88
新潟県	11	0.11
富山県	3	0.06
石川県	22	0.46
福井県	21	0.66
山梨県	18	0.45
長野県	127	1.44
岐阜県	58	0.67
静岡県	37	0.31
愛知県	143	0.76
三重県	68	0.99
滋賀県	44	0.85
京都府	97	0.79
大阪府	496	1.8
兵庫県	180	0.91
奈良県	102	1.85
和歌山県	23	0.47
鳥取県	13	0.45
島根県	14	0.37
岡山県	15	0.18
広島県	53	0.46
山口県	26	0.37
徳島県	12	0.34
香川県	20	0.43
愛媛県	50	0.82
高知県	17	0.35
福岡県	99	0.5
佐賀県	12	0.31
長崎県	105	1.5
熊本県	12	0.15
大分県	11	0.19
宮崎県	33	0.57
鹿児島県	70	0.75
沖縄県	1181	20.36

発熱患者の受診の流れ【基礎疾患等を有する場合（妊婦以外）】



基礎疾患等

ここでいう基礎疾患等とは、新型インフルエンザに罹患することで重症化するリスクが高いと考えられている者をいう（ハイリスク者）。

通常のインフルエンザでの経験に加え、今回の新型インフルエンザについての海外の知見により、以下の者が該当すると考えられる。

妊婦、幼児、高齢者、慢性呼吸器疾患・慢性心疾患・代謝性疾患（糖尿病等）・腎機能障害・免疫機能不全（ステロイド全身投与等）等を有しており、治療経過や管理の状況等を勘案して医師により重症化のリスクが高いと判断される者。

* 院内感染防止対策 季節性インフルエンザと同等の対応を各医療機関の判断で行う。
○ 発熱者へのマスク着用の徹底 ○ 医療従事者のマスク着用の徹底 など

発熱患者の受診の流れ【妊婦の場合】

急な発熱と咳やのどの痛みなどの症状がある

電話

かかりつけの産科医療機関 ← 必要に応じ連携 → その他の医療機関

原則として全ての医療機関が対応する。
院内感染防止対策*の徹底。

妊婦に症状を認めた場合、妊婦から妊婦への感染を極力避けるため、産科医療機関においては、あらかじめ電話してから受診するよう求める等の対応を図る。

診療

症状の程度や妊娠の経過から入院治療の必要性を判断

不要

入院の必要性の判断

必要

自宅療養

軽快退院

入院協力
医療機関

症状増悪

* 院内感染防止対策 季節性インフルエンザと同等の対応を各医療機関の判断で行う。
○ 発熱者へのマスク着用の徹底 ○ 医療従事者のマスク着用の徹底 など

平成21年8月15日(土)
沖縄県新型コロナウイルス対策推進本部
【福祉保健部医務課】
電話 098-866-2169

新型コロナウイルス患者の死亡について

平成21年8月15日(土)、沖縄県内において、新型コロナウイルス感染患者の死亡が確認されましたのでお知らせします。亡くなられた患者様のご冥福をお祈りします。

なお、報道に際しては、お亡くなりになった方及び家族のプライバシーに十分配慮していただくとともに、医療機関への直接の問い合わせは控えていただくようお願いいたします。

1 患者概要

- ・ 中部保健所管内市町村在住 50代 男性
- ・ 基礎疾患有り(過去に心筋梗塞治療歴あり。現在、慢性腎不全のため透析中)

2 感染源

不明。周囲にインフルエンザ様症状のある人はなし。

3 経緯

【入院前の経過】

- 8月9日 午後から咽頭痛と咳の症状出現。自宅で経過観察。
- 8月10日 中部保健所管内透析医療機関で透析。その際に上記感冒症状と37度台の熱があり、簡易検査をしたところA型陰性。解熱剤を処方。
- 8月12日 透析日。食欲低下と悪心・嘔吐の訴えあり。受診時には発熱はなかったものの、透析中に39度まで上昇。簡易検査でA型陽性。透析後、タミフルを投薬。胸部写真で心陰影の拡大がみられ、また全身状態が良くないため中部保健所管内医療機関へ紹介。

【入院後の経過】

- 8月12日 18:55中部保健所管内医療機関受診。来院時、38.8度の熱。全身倦怠感強く、筋肉痛、悪心、労作時呼吸苦を認めたため入院治療となった。
- 8月13日 著変なく経過
- 8月14日 未明に意識レベルの低下がみられ、肝機能障害と血小板減少が見られた。意識レベルはいったん改善するが、夕方から呼吸苦の増強が見られた。胸部X線撮影したところ、バタフライ陰影の像がみられたため、うっ血性心不全を疑い、透析を行った。透析後、バタフライ陰影は若干よくなるも、8月15日になってから循環不全となり、午前1時半に心停止し、心肺蘇生で一旦は心拍再開するも6時54分死亡された。

【本日(8月15日)】

緊急でPCR検査を行い、午後4時頃新型コロナウイルス陽性であったことが確認された。

《県民への呼びかけ》

- ・ 本日、新型インフルエンザ感染患者の死亡が確認されました。
- ・ 死亡の主な原因は、心疾患や慢性腎不全が合併していた上に、インフルエンザに罹患したためと思われます。
- ・ 現在流行中の新型インフルエンザの特徴は、通常の季節性インフルエンザと同程度の病原性(毒性)でありタミフルなどの治療効果が高いが、ほとんどの人が免疫をもっていないため、きわめて伝染性が強いことです。
- ・ インフルエンザは健康な人の多くにとっては一過性の病気であるが、喘息、心疾患、腎疾患、糖尿病等の基礎疾患のある人や、乳幼児、妊婦では時に重症化することもあることが知られています。
- ・ 今後、本県においてはインフルエンザの流行が拡大することが予想されます。
- ・ カゼ症状のある人は、水分、栄養摂取に気をつけ、外出を控え安静にしましょう。また外出の際、特に医療機関受診の際には必ずマスクを着用しましょう。
- ・ 周囲にカゼ症状の人がいる場合には、自分自身もインフルエンザに感染している可能性が高いため、感染拡大防止の観点から外出をなるべく控え、外出時はマスクをしましょう。

記者発表資料（平成21年8月18日）

神戸市新型インフルエンザ対策本部（保健福祉局健康部地域保健課） 川瀬、小西

TEL：078-322-5256 内線3310～1

E-mail:tiikihoken@office.city.kobe.lg.jp

新型インフルエンザ感染患者の死亡について

平成21年8月18日（火）、神戸市内において、新型インフルエンザに感染した70代男性の死亡が確認されました。死亡の原因は、急性気管支炎によって肺気腫が急速に悪化したため、生前に採取した検体から新型インフルエンザに感染していたことが判明しました。お亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈りいたします。

なお、報道に際しては、お亡くなりになられた方及びご遺族のプライバシーに十分配慮していただくようお願いします。

1. 患者概要

- ・垂水区在住の70代男性
- ・基礎疾患（肺気腫、糖尿病、高血圧）
- ・糖尿病による腎不全で週3日の腎透析

2. 経緯

《8月16日（日）－発症日》

- ・発熱（38度）、倦怠感、軽い咳、息苦しさの症状あり。

《8月17日（月）》

- ・市内の医療機関にて受診。肺炎疑いと診断される。
- ・インフルエンザ迅速検査結果 A（－）
- ・状態不良のため精査目的で市内の病院を紹介。
- ・午後1時頃、同病院に入院、急性気管支炎による肺気腫の悪化と診断される。
- ・インフルエンザ迅速検査結果 A（＋）
- ・発熱、呼吸困難、全身倦怠の症状あり。タミフル投与及び抗生剤の点滴の治療を行う。

《8月18日（火）》

- ・午前6時20分、容態急変にて死亡。（死因：急性気管支炎による肺気腫の悪化）
- ・市環境保健研究所におけるPCR検査の結果、午後3時頃新型インフルエンザ陽性であったことが判明。

3. 感染源

- ・不明。

4. ウイルスの性状変異、タミフル耐性の調査

- ・国立感染症研究所へ検体を送付し、調査の予定

市民のみなさまへ

- ・本日、神戸市内において、新型インフルエンザに感染した70代男性の死亡が確認されました。
- ・死亡の原因は、急性気管支炎によって肺気腫が急速に悪化したためで、生前に採取した検体から新型インフルエンザに感染していたことが判明しました。
- ・新型インフルエンザの症状は、通常の季節性インフルエンザと同程度であり、ほとんどの感染者は軽症のまま治療しています。ぜん息や心疾患、腎疾患、糖尿病などの基礎疾患のある方や乳幼児、妊婦については、新型インフルエンザに感染した場合、重症化することもあり、注意が必要です。
- ・神戸市では、5月16日に市内において国内で最初の感染患者が確認されて以降、感染拡大の防止について様々な対策を講じてきましたが、今後も、状況の変化に注視しつつ、引き続き、医療機関と連携しながら新型インフルエンザ対策に全力をあげて取り組んでまいります。
- ・市民の皆様におかれましては、こまめな手洗い、うがい等を徹底し、インフルエンザの症状がある場合には、医療機関にあらかじめ電話連絡をして受診して下さい。特に基礎疾患をお持ちの方については、日頃からかかりつけの医師と相談しておいていただくようお願いいたします。

平成21年8月19日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部健康増進課

(担当：渡邊、秋田)

電話：972-2636

972-2656

新型インフルエンザ患者の死亡について

平成21年8月19日(水)、名古屋市において、新型インフルエンザ感染患者の死亡が確認されましたのでお知らせします。亡くなられた患者様のご冥福をお祈りします。

なお、報道に際しては、お亡くなりになった方及び家族のプライバシーに十分配慮していただくとともに、医療機関への直接のお問合せは控えていただくようお願いいたします。

1 患者概要

- ・名古屋市在住の80歳代女性
- ・基礎疾患あり(多発性骨髄腫、心不全)

2 感染源

不明。海外渡航歴なし。

3 死因

重症肺炎

4 経緯

- 8月13日 救急外来受診(体温39.5℃)、入院
- 8月15日 咳がひどく状態が悪いため、4人部屋より個室に移動
- 8月17日 簡易検査結果A型陽性
- 8月18日 PCR検査結果、新型インフルエンザ(H1N1)陽性
酸素吸入実施
- 8月19日 深夜1時32分死亡

5 その他

患者の入院する病院において、当該患者の他に、新型インフルエンザ疑い患者6名(入院患者2名、研修医1名、看護師3名)が確認されております。

市民の皆様への呼びかけ

本日、名古屋市において新型インフルエンザに感染された方がお亡くなりになりました。亡くなられた患者様のご冥福をお祈りします。

亡くなられた主な原因は、基礎疾患として多発性骨髄腫を患っていた上に、インフルエンザに罹患したためと思われます。

現在流行中の新型インフルエンザの特徴は、通常の季節性インフルエンザと同程度の病原性（毒性）であり、タミフルなどの治療効果が高いが、ほとんどの人が免疫をもっていないため、きわめて伝染性が強いことです。

インフルエンザは健康な人の多くにとっては一過性の病気であるが、喘息、心疾患、腎疾患、糖尿病等の基礎疾患のある人や、乳幼児、妊婦では時に重症化することもあることが知られています。

今後、秋・冬に向けて、さらにインフルエンザの流行が拡大されることが予想されます。

インフルエンザ様症状のある人は、水分、栄養摂取に気をつけ、外出を控え安静にしましょう。また、外出の際、特に医療機関受診の際には必ずマスクを着用しましょう。

周囲にインフルエンザ様症状の方がいる場合には、自分自身もインフルエンザに感染している可能性が高いため、感染拡大防止の観点から外出をなるべく控え、外出時にはマスクを着用しましょう。

平成21年8月11日 午後8時30分

連絡先 茨城県保健福祉部保健予防課
健康危機管理対策室

担当者 入江

代 表 029-301-3219 (内線 3211)

新型インフルエンザ患者について

平成21年8月11日(火)のPCR検査結果により土浦保健所管内において新型インフルエンザの感染が確認された患者(4歳男児)について、本日感染症法に基づく急性脳症(インフルエンザ脳症)の発生届が提出されましたので情報提供します。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

<経 過>

8月 9日 朝方から咳嗽あり。

8月10日 8時 38.5℃の発熱。

15時 救急車にて病院受診。けいれん発作・意識障害あり。呼吸状態不安定のため人工呼吸器装着。インフルエンザ迅速検査A(+)。

8月11日 17時 PCR検査結果により新型インフルエンザ陽性確定。
ICUで治療中。

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

平成21年8月12日

福島県新型インフルエンザ対策本部

県北保健福祉事務所管内において、8月12日の確認検査の結果新型インフルエンザの感染が確認された患者について、人工呼吸器を使用した症例が確認されましたので、お知らせします。

なお、報道に際しては、患者の個人情報について特段のご配慮をお願いします。

記

1 患者概要

10歳未満 学童 男児

県外から帰省し、県北保健福祉事務所管内に滞在

2 経緯

8月11日 午後から発熱。

15時 A医療機関受診。簡易検査でインフルエンザ陰性。

21時30分 B医療機関受診。

簡易検査でインフルエンザ陰性。

23時、C医療機関に肺炎が合併しているため入院。

8月12日 朝、簡易検査でインフルエンザ陽性となったため、確認検査を実施。

18時15分 D医療機関に転院。

18時38分 確認検査の結果、新型インフルエンザであることが判明。

19時25分 人工呼吸器を装着し、治療を継続。

連絡先

保健福祉部医療看護課

課長 佐原 輝一

電話024-521-7262

024-521-7271

内線2729・2757

平成21年8月13日(木) 午後2時提供

連絡先	大阪府新型インフルエンザ対策本部事務局
	健康医療部 保健医療室
	地域保健感染症課 感染症グループ
	担当：大庭・富田
代表	06-6941-0351
内線	2542
直通	06-6942-9888

枚方市内の社会福祉施設において8月12日に新型インフルエンザの感染が確認された患者について、人工呼吸器を使用した症例が確認されましたのでお知らせします。

【患者概要】

年齢：29歳、性別：男性

【経緯】

8月10日 39.2度の発熱。

インフルエンザ迅速簡易検査で、A型陽性と判明。

タミフル投与。

人工呼吸器の使用を開始。

8月11日 PCR検査実施。

8月12日 新型インフルエンザ患者と確定。

体温38.3℃。呼吸状態も安定し、状態は落ち着いている。

8月13日 体温37℃に解熱。

人工呼吸器は使用しているものの、引き続き状態は落ち着いている。

*本患者については、基礎疾患により以前から呼吸管理のため気管切開及び酸素投与を受けられており、過去にも人工呼吸器の使用歴があります。

*同施設では、他に複数の感染が認められることから、本日16時から自主的に公表される予定です。

*当該施設では、保健所と協力して感染拡大の防止に努めています。

【平成21年8月14日】

発表事項	感染症法に基づく急性脳炎として届出が行われた新型インフルエンザ患者について
概 要	本日、新型インフルエンザ患者が急性脳症を発症しているとして宮崎市保健所に届出がありましたので情報提供いたします。 なお、患者の個人情報については、特段の配慮をお願いいたします。 【患者概要】 年齢：14歳 性別：男性 【経過】 8月11日 咳、のどの痛み、鼻水、体が痛い等の症状出現。 8月12日 37℃台の発熱があり、近くの医療機関を受診、投薬治療を受ける。 (抗インフルエンザ薬は処方されていない) 8月13日 早朝に40℃台の発熱、けいれんの症状が出現したことから医療機関を受診するも、入院加療が必要と診断され、入院施設のある医療機関に入院となった。インフルエンザ迅速検査にてインフルエンザA型陽性と判明し、抗インフルエンザ薬等の投薬治療を受ける。 新型インフルエンザ確認検査（PCR検査）により、新型インフルエンザと診断される。 8月14日 けいれんは消失し、38℃台に解熱するなど、回復の傾向にあり、現在入院治療を継続している。 本日、宮崎市保健所に急性脳炎の届出。 ※ 本件は、7月24日付厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局通知「新型インフルエンザ（A/H1N1）に係る今後のサーベイランス体制について」に基づき、新型インフルエンザの入院患者が、入院中に急性脳症を発症していることを把握したことから厚生労働省と連携のもと、公表を行うものです。
担当部署	課・係名：宮崎市保健所保健予防課 担当者：宮内 電話：29-5281（直通）、内線(70)4242 ファクス：61-1210 e-mail：10yobou@city.miyazaki.miyazaki.jp

平成21年8月19日(水)
沖縄県新型インフルエンザ対策本部

新型インフルエンザ重症患者の発生について

平成21年8月19日(水)までに、沖縄県内において3名の新型インフルエンザ重症患者が確認されましたのでお知らせします。

【患者情報】

NO	居住地	年代 (職業)	性別	基礎疾患	特記事項
A	中部保健所管内	13歳	女	なし	16日より発熱、17日より咳、呼吸苦があり、肺炎像あり。簡易キットでA(+)。18日(水)に呼吸状態が悪化し、肺炎像も増悪したため、ICUにて人工呼吸器で管理されている。現在リレンザと抗生物質で治療中。PCR検査は陽性。
B	南部保健所管内	1歳	男	あり	8月9日より発熱。13日より、喘息発作のため入院管理。いったん改善したが15日より39℃の発熱、呼吸状態悪化し、17日より人工呼吸器で管理されている。PCR検査は陽性。
C	南部保健所管内	11歳	女	なし	15日までは症状無し。16日～発熱38.5℃。A(-)B(-)で解熱剤で経過観察していた。18日に再受診しA(+)。ぐったりして呼吸苦ありICU入院し、心筋炎と診断されている。全身状態悪く、人工呼吸器管理中。PCR検査は陽性。